

行政報告



「行政報告」とは、市政を進める中で、主要な施策などの現状や進捗状況を報告するものです。
以下、市の主要な取り組みについてご紹介します。

■公共施設の電気料金削減に向けた官民連携事業

市庁舎を含めた公共施設の電気料金は、年間で1億2千万円を超える多額の予算を投資しており、市の財政を逼迫する大きな要因の一つとなっています。これまで、一括入札などにより経費削減に一定の成果を収めてきましたが、さらなる行政のスリム化と行政力の強化を図るため、本市と民間企業で電気調達に関する特別目的会社、いわゆる「SPC」を設立いたします。「SPC」が電気の取り次ぎ契約をすることで、電気料金の削減と、「SPC」で得た収益を本市のまちづくりに還元できる画期的な仕組みとなっています。この仕組みは、官民連携によるオープンイノベーションにより生み出された、千葉県内初の取り組みとなります。

民間事業者からの提案を公募したところ、1グループから提案があり、十分な効果がみられるとともに、効果額でも、1千8百万円相当が期待できることから、この事業者を候補者として選定し、官民連携事業の取り組みに関する協定締結に向けて協議を開始しています。

経営戦略室

本年4月1日に設置した経営戦略室では、行政組織にとらわれず新たな発想を組み入れ、各施策に対しさまざまな観点から多角的に調査・分析をし、随時、市長へ提言がなされています。

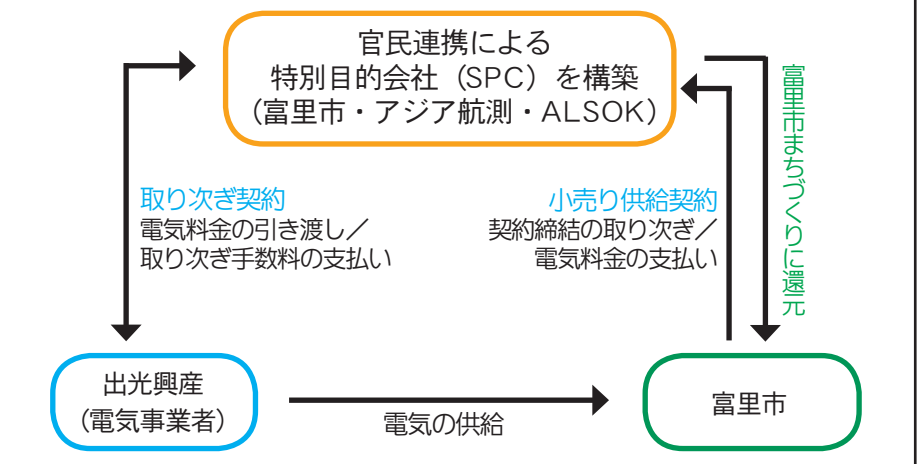
そして、市長は提言の採択を判断し、採択された案件は、提言を参考に担当課において事業転換が図られます。

下記に示す「電気料金削減に向けた官民連携事業」、「市街化区域内の用途地域見直し方針案」、「旧岩崎家末廣別邸の一般公開」、は、経営戦略室の提言を基に事業化に至った案件であり、根幹部分である事業の道筋などを明らかにすることで、スピード感ある進捗が図られます。

新たな取り組みである経営戦略室の設置は、歳入改革を柱とした、行政経営を進めるうえで着実な成果が表れており、今後は、より一層の行政力の強化が期待できます。

企画課 ☎ (93) 1118

官民連携による電気調達の仕組み



■市街化区域内の用途地域見直し方針案・市街化調整区域の規制緩和・企業立地促進条例の制定

問い合わせ先

- 市街化区域・市街化調整区域について 都市計画課 ☎ (93) 5147
- 企業立地促進条例について 商工観光課 ☎ (93) 4942

市街化調整区域

市街化調整区域は、土地利用方針に即した産業基盤整備の誘導を図るため、地区計画制度を活用した新たな運用を開始したことで、現在2つの企業が、来年度の都市計画の決定手続きに向けた具体的な協議を開始しています。さらに、市街化調整区域の規制緩和を誘導し、企業立地が創出できる受け皿を整えるため、千葉県と協議を重ねてきた都市計画法第34条第12号の規定による規制緩和は、現在、県都市部局において他の都市計画法の改正と併せ準備が進められています。

また、企業立地促進条例を制定し、市街化調整区域における企業誘致の促進に必要な奨励措置を整備し、新たな市街地形成を図るとともに、産業振興の充実と雇用機会の拡大を図るなど、歳入確保を促進し、市政の発展へと繋げていきます。

市街化区域

市街化区域は、富里の中心拠点をはじめ、本来、市街地が担うべき適切な土地利用の誘導を図るとともに、低層住宅地においては、高齢社会を踏まえ、身近な生活圏での利便性の向上を図るため、「用途地域の見直し」に取り組んでいるところです。

市街地としての土地利用を促進すべき市街化区域については、全体の問題点を根本的に洗い出し、都市計画マスタープランに掲げるまちづくりの実現を目指すため、用途地域の見直しについての方針案を住民説明会で示し、今後、具体的な用途地域の変更素案の作成作業を進めていきます。

■旧岩崎家末廣別邸の一般公開・隣接地の今後の整備方針

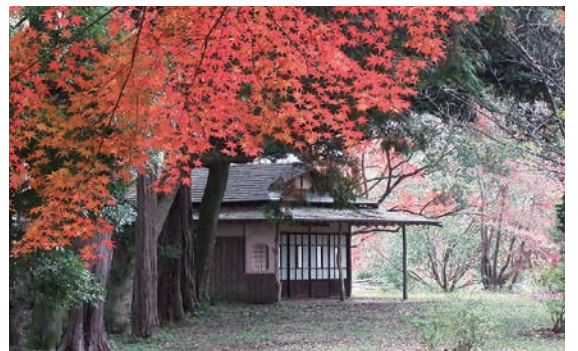
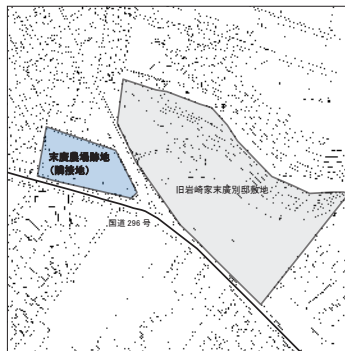
生涯学習課 ☎ (93) 7641

旧岩崎家末廣別邸は、三菱地所から平成24年に寄付を受けて以降、建物の破損状況や復元に向けての基礎調査など、様々な課題があり、これまで、特別公開として限定的な形で公開でした。さらに、昨年の台風被害が影響し、倒木処理などに莫大な労力と時間を要することから、一般公開の実現が困難な状況でした。

しかし、国が推進する再生可能エネルギーの固定価格買取制度の活用と県森林組合の協力により、倒木処理や支障木の撤去作業が可能となり、庭園の整備が飛躍的に向上することで、一般公開への道筋が見えてきました。国登録有形文化財として歴史的価値のあるこの施設は、市民はもとより、多くの方々が公開を心待ちにしています。

そこで、支障木の撤去や園路等の整備など安全対策を施すことにより、文化的施設として、さらには観光の拠点となるべく、敷地の一部となりますが年内の一般公開に向け準備を進めています。

また、旧岩崎家末廣別邸は、隣接地との一体的な取り組みを踏まえ、賑わい拠点の形成に向け取り組むこととしています。が、「末廣農場」の面影が色濃く残る旧岩崎家末廣別邸とその隣接地が相互に連携し、一体的な利用による賑わい拠点を創出できるよう、「観光・交流拠点」として隣接地に求められている「末廣農場ガイダンス施設、併設物販施設の設置」に向け、これまでの民間活力による施設整備から、公設民営も含めた整備手法の調査研究を進めていきます。



新型コロナウイルス感染症対策ポスター

とみちゃんからのおねがい

ご家庭で皆さんの目に触れる場所（玄関や冷蔵庫など）に貼っていただき、ご活用ください。今一度、感染症対策の確認をお願いします。ご協力をお願いします。